



第3回本庁舎整備検討市民委員会を開催しました

8月19日（水）午後6時30分から、士別市本庁舎・消防庁舎の整備についての第3回検討市民委員会を開催しました。

当日は、委員16名の参加のもと、改修・改築・分庁舎化の各整備手法について、庁内での調査内容をもとに、比較検討を行いました。

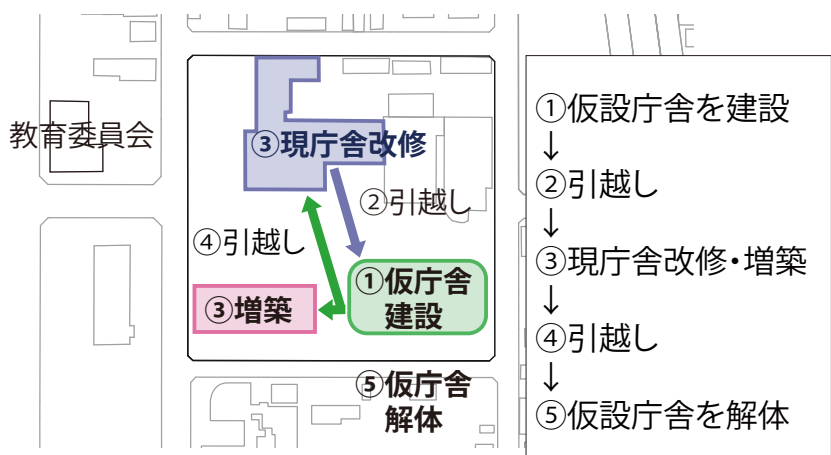


①「改修」による整備方法

現在の庁舎を耐震補強し、あわせて内外壁やエレベーター、各種設備を全面的に改修し、継続して利用する方法です。

外壁や庁舎各階の事務室内に、耐震補強のコンクリート製の壁や鉄鋼の筋交いを設置する必要があります。そのため、現庁舎を利用したまま、工事を行うことができないことから「仮設庁舎」を建設し、一度引越しをする必要があります。また、事務室内に耐震壁を設置することにより、現状より手狭となることから、事務室や窓口の配置に支障をきたすため、増築が必要になります。

改修による整備のイメージ



委員の意見

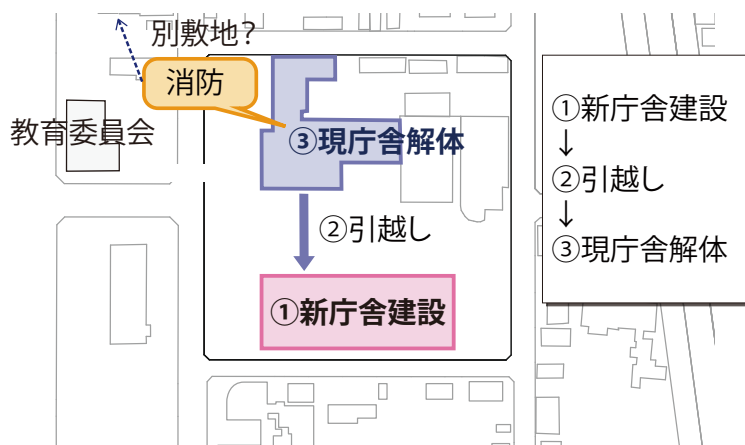
- ・耐震補強工事によって、庁舎内が現状よりも狭く、使いづらくなると思う。
- ・「改修」は安く簡単に出来ると思っていたが、工事のときに仮設庁舎が必要で、もしそれだけに数億円もかかるのであれば「改築」の方が良い。
- ・改修では、窓口のワンストップ機能への対応や、市民のコミュニティスペースの充実は難しいのではないかと。

②「改築」による整備方法

新たに庁舎を建築し、現在の庁舎を取り壊す方法です。

建設場所は防災性や機能性、市民の利便性を考慮し「現庁舎の敷地」内とし、消防庁舎は別敷地での整備も想定し検討しました。（北星保育園前の市有地や上川総合振興局北部耕地出張所東側の市有地など）

改築による整備のイメージ



委員の意見

- ・100年持つしっかりとした庁舎を作るべき。
- ・北星保育園の市有地は、将来のこどもセンター建設の候補地であり、子育て日本一を目指す土別にとって大変良い環境にあるので、消防庁舎の建設は避けてほしい。
- ・将来人口の減少を見据えて、コンパクトな建物に改築したほうが良い。税金が上がるので、市の財政をしっかりと見通した計画を。

③既存の施設を利用した庁舎機能の一部分庁による整備方法

①改修または②改築とあわせて、他の既存の施設を活用し、庁舎機能を分散して配置する方法です。

既存の公共施設のうち、将来一定の空きスペースが見込める「保健福祉センター2階」の活用や、現在、民間施設を利用している「教育委員会」のあり方について、市民の利便性への影響や業務の効率性に重点を置きながら検討を行いました。

委員の意見

- ・今ある施設を十分活用して、住民サービスを向上してほしい。
- ・市民の目線で考えると、ワンストップ窓口が望ましい。ただ、市民サービスが低下しないような分庁化も検討できると思う。
- ・国道沿いの空き施設を活用し、例えば経済関係の部署が街なかに「分庁化」して、にぎわいを創出する考え方もあるのではないかな。
- ・「分庁化」もサービスの1つだとは思いますが、1カ所にまとめた方が利用しやすいのではないかな。
- ・子育て中の市民は保健福祉センターに行く頻度が高いので、子ども子育て応援室は「分庁化」し、保健福祉センターに整備しても良いと思う。
- ・高齢者にとっては、庁舎の場所が変わったり、窓口が分散すると混乱が起きると思う。現庁舎の場所で一体的に整備してはどうか。
- ・「改築」し、庁舎機能はすべて集約したほうが良い。一体化する事により庁内の災害時の縦・横の連携も充実する。

その他の委員の意見

- ・コンパクトな庁舎とするために、書類のIT化や個人ロッカーの見直し、机の共有化を考えてはどうか。
- ・旧土別市と旧朝日町の合併による特例債なので、有効に使ってほしい。

それぞれの整備手法について、様々なご意見がありました。委員会では今後、それぞれの手法の整備費用を含めた検討を進めます。

【発行・お問合せ先】 土別市役所総務部総務課
〒095-8686 土別市東6条4丁目1番地
TEL: 0165-23-3121 FAX: 0165-22-1934
<http://www.city.shibetsu.lg.jp/>